

1 学校教育目標	めざす生徒像
人権の尊重を基盤として、ふるさとを舞台に広い視野で考え、自ら学び、主体的に行動する、心豊かな人間の育成	<input type="checkbox"/> 生命と人権を大切にし、生き抜く力を持った生徒 <input type="checkbox"/> いつまでもふるさと日吉を愛する生徒 <input type="checkbox"/> グローバルな視野で考えることができる生徒 <input type="checkbox"/> 学ぶ意欲と学ぶ力を身に付けた生徒 <input type="checkbox"/> 思いやりをもち、仲間と協調して取り組める生徒

2 本年度の重点
①人権感覚を高め安心して学べる環境づくりに努める ②主体的、対話的で深い学びを実現する授業づくりを推進する ③道徳や特別活動を充実させ、豊かな人間性を育む ④将来を見据えたキャリア教育の充実を図る ⑤コミュニティ・スクールとして地域との協働を充実させる

3 目標・評価 *各目標数値(%)並びに回答結果数値(%)は、アンケートで「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」と肯定的回答した数値合計の割合です(①⑥⑨を除く)

①人権感覚を高め安心して学べる環境づくりに努める					
評価項目とその観点	具体的目標	具体的方策	達成度	成果と課題	具体的な改善方策
◆人権教育の充実と人権意識の高揚 ○いじめをはじめとした人権侵害・差別偏見を許さない仲間作りを進める。 ○人権学習を計画的・系統的に進める。 ○情報モラル学習を計画的に実施する。	①いじめの完全否定を100%にする。 ②学校は楽しいと回答する割合を70%以上とする。 ③支援学校との交流・共同学習を実施し、心のバリアフリー意識の浸透を図る。 ④情報モラル学習を計画的に実施する。	○人権問題の正しい理解並びに人権感覚の高揚のために、人権学習の内容を見直し、計画的・系統的に進める。 ○一人一人に役割を与え、学校での居場所をつくる。 ○日頃の小さな言動を見逃さない。	B	○①の割合は87%であったが概ね肯定的。 ○②の割合は87%で目標値を上回った。 ○③の交流学習を実施することができた。 ○④SNSトラブル等について、親子共に学びを深めることができた。 ●集団になじめない生徒への更なる働きかけ ●人権学習に対する姿勢・気運の不足 ●育ちあう子らの集い作品展での、心のバリアフリー意識高揚の啓発不足。	・日頃の小さな言動を見逃さない人権感覚を高めるための研修。 ・人権学習を中心に据えた各学年の教育課程編成 ・情報教育部としての情報モラルについてのマネジメント。
②主体的、対話的で深い学びを実現する授業づくりを推進する					
評価項目とその観点	具体的目標	具体的方策	達成度	成果と課題	具体的な改善方策
◆「主体的・対話的で深い学び」の実現 ○「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善を進める。 ◆ICT機器の効果的活用 ○ICTを効果的に活用した学ぶ力の向上を図る。	⑤自分で計画を立てて学習する生徒割合を70%以上とする ⑥家庭学習30分未満の割合を10%以下とする。 ⑦全教員が1回以上、ねらいに迫るICT機器の効果的活用をめざす公開授業研究会を実施する。	○共に学ぶことの楽しさに気づけるような指導を進め、「対話的な学び」の実現に繋げる。 ○生徒の興味関心や主体的学習に繋がる課題開発を進める。 ○他教員の参観を重ねながら、ICT機器の効果的活用に向けて実践を重ねる。	B	●⑤の割合が52%と目標値を下回った。 ●⑥の割合が30%強と目標値を下回った。 ○⑦については全員実施ができ、自身の授業改善に活かすことができた。 ○英検や外部コンクール等に挑戦する生徒数が増加している。	・生徒の興味関心・主体的学習に繋がる課題開発。 ・学ぶ意味・意義の生徒への伝達。 ・公開授業週間とともに、中心授業を含む公開授業研を実施する。 ・公開授業週間中の相互参観を増やす。
③道徳や特別活動を充実させ、豊かな人間性を育む					
評価項目とその観点	具体的目標	具体的方策	達成度	成果と課題	具体的な改善方策
◆生徒指導の充実 ○自己肯定感を高め、共感的人間関係を育み、自己決定を大切にしたい指導を積み上げる。 ◆道徳教育の充実と地域道徳の定着 ○「考え、議論する道徳」の指導を進め、さらに地域総がかりで道徳性を育む地域道徳を推進する。	⑧「自分には良いところがある」と回答する割合を50%以上とする。 ⑨学級生活満足度を70%以上とする。 ⑩ブロック活動を年間5回は実施する。 ⑪「考え議論する」道徳の指導の確立をめざし、道徳の授業参観を実施する。	○ブロック活動等、自己肯定感、共感的人間関係を育む機会を増やす。 ○Q Uテスト結果による科学的分析に基づき、居心地のいい学級づくりのための研修を行う。 ○「考え、議論する道徳」の確立に向け、校内での互いの参観を重ね、指導に繋げる。 ○地域(親子)道徳の取組を通じて、保護者・地域と共に道徳性を育む。	B	○⑧の割合が84%と目標値を上回った。 ○⑨の割合は62%だが徐々に向上。 ○⑩の活動を年8回実施できた。 ○「殿中行動宣言」具現化に向けた様々な取組を進め、生徒会活動が活性化した。 ●⑪道徳の授業参観、各学年の親子道徳等は実施できたが、「考え議論する」道徳の授業改善までには至っていない。	・各活動がどの非認知能力の育成を目指すのか目標を明確にする。 ・居心地がよく間違いが許される学級作りに向け学級経営の見直しを図る。 ・見通しを持った学活計画を立て、道徳の授業改善を進める。(道徳の授業公開の設定)
④将来を見据えたキャリア教育の充実を図る					
評価項目とその観点	具体的目標	具体的方策	達成度	成果と課題	具体的な改善方策
◆キャリア教育の充実 ○多様な生き方に触れる機会をもとに、働くこと、生きることの意味や意義の理解を深める。 ○キャリア・パスポートを活用し、自らの生き方を描く力を育成する。	⑫「将来の夢や目標がある」と回答する割合を60%以上とする。 ⑬「難しい事でも失敗を恐れず挑戦する」と回答する割合を50%以上とする。 ⑭「人の役に立ちたい」と回答する生徒を80%以上にする。	○慣れや見本となる大人との関わりの機会を設定する。 ○高みを目指すことができる雰囲気をつくる。 ○キャリア・パスポートの効果的運用を進める。	A	○⑫の割合が72%と目標値を上回った。 ○⑬の割合が68%と目標値を上回った。 ○⑭の割合が95%と目標値を上回った。 ●進路選択に向けて、家庭学習の重要性に気づかせる指導の工夫や働きかけが必要。 ●キャリア・パスポートの効果的運用という点では課題がある。	・高みを目指すことができる学校全体としての雰囲気を作り、様々な機会に一步踏み出せる働きかけを行う。 ・進路実現に何が必要か考える機会を作り、自学自習の姿勢を養う。 ・キャリアパスポート記入内容を振り返る機会の設定。
⑤コミュニティ・スクールとして地域との協働を充実させる					
評価項目とその観点	具体的目標	具体的方策	達成度	成果と課題	具体的な改善方策
◆コミュニティ・スクールの推進 ○学校運営協議会の周知を進めると共に、熟議内容の実現を図る。 ○地域人材や資源を活用したふるさと学習や地域道徳を推進する。	⑮学校運営協議会を5回以上、また熟議を1回以上は実施する。 ⑯年2回、地域人材等も活用しながら地域道徳(親子道徳含む)を行う。 ⑰学校の様子等の地域への発信・広報を一層進める。	○熟議の参加対象を地域に広げる。 ○学校運営協議会の理解が深まるよう、PTA等に周知を進める。 ○地域コーディネーターとの円滑な連携を進め、地域人材や資源の新たな開発を進める。	A	○⑮は4回だったが、熟議により目指す子供像・取組内容について考えを深めた。 ○⑯各学年それぞれ特色ある親子道徳を実施し、参加保護者の反応も大変良かった。 ○⑰殿中掲示板等で情報発信に務めた。 ○殿中行動宣言の具現化に向け、地域貢献に繋がる様々な活動を実施でき、「守られる側から守る側へ」というキーワードの足がかりとなった。	・学校運営協議会とPTAが共に活動する機会をつくる。 ・持続可能な形で地域貢献につながる活動を実施し、生徒の成功体験につなげる。 ・情報共有と到達目標を設定して、全員で取組を進める。

◎達成度については、「A・B・C・D」の4段階表記とする。(A:十分な成果が見られた、B:成果が見られた、C:課題が見られる、D:課題が大きい)

〈第三者評価〉
 ・地域道徳の取組は、生徒会が主体となって挨拶運動や小中連携の取組が進められていることが素晴らしい。何より、教師主導でなく、生徒の主体意識を高められるようにしかけを作り取り組まれていることがよと感じた。
 ・今年度、道徳の授業を殿田中学校ブロックにおいて広く公開されるとともに、親子道徳を実践されたことは大変意義深いものであったと考えます。
 ・キャリア教育の具体的目標を達成されており、様々な取組を進めてこられたことを感じます。地域の教育資源を生かしながら取組を充実していかれることを期待します。
 ・若手教員への模擬授業や全教職員による公開授業の取組は教職員の指導力向上を支えるものとなっており、「チーム殿田中」の意気込みが生徒の姿や行事を通して感じられた。
 ○全教科における共通テーマでの研究は、教科横断的な指導にも繋がり、生徒もより学びやすい環境になるのではないかと。生徒の学力向上に繋がってほしいと思う。
 ・外部コンクール・各種検定に挑戦する生徒割合の増加、生徒の生活満足度の向上並びに自尊心の割合が84%と高いところなどから日々の学校生活の充実が感じられます。

〈保護者アンケート結果の概要〉 ()内は前年比
 ○肯定的意見の割合が大きく増えたもの
 ・教職員は授業改善や様々な工夫をして、分かりやすい授業に努めている。90%(+15P)
 ・教職員は、生徒をよく理解し、その能力や努力を適切に評価している。87%(+14P)
 ・学校は、授業、体験活動、挑戦機会等を通して、生徒のやる気や好奇心を育てている。90%(+13P)
 ・学校は、学級通信・HP・学校公開等で、学校の様子を保護者に伝える努力をしている。98%(+12P)
 ・学校は、道徳の時間等を通して、命を大切に心、思いやりの心、善悪のけじめ、集団生活のルールや社会のマナーを守る態度等を育てている。92%(+11P)
 ▲肯定的意見の割合は増えたもののまだ高くないもの
 ・生徒は、家庭学習の習慣が身につけてきている。81%(+16P)
 ・学校は、正しい服装、遅刻、挨拶等の基本的な生活習慣の確立のための指導に努めている。82%(+6P)
 ・学校は、ボランティア活動・地域へ出かける活動等や教科・総合的な学習等を通して、生徒が地域や社会に目を向けるよう指導している。83%(+8P)
 ・生徒は、学校へ行くのを楽しみにしている。85%(+7P)